



2026年4月14日

各位

会社名 株式会社 アスタリスク
代表者名 代表取締役執行役員社長 鈴木規之
(コード番号:6522 東証グロース)
問合せ先 取締役執行役員管理統括室長 太田尚友
(e-mail. ir@asx.co.jp)

2026年8月期 第2四半期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社グループは、2025年10月15日に公表した2026年8月期第2四半期(累計)連結業績予想(2025年9月1日～2026年2月28日)と本日発表いたしました実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (2025年10月15日)	百万円 907	百万円 △34	百万円 △38	百万円 △35	円 銭 △4.52
実績(B)	760	△29	△8	△11	△1.46
増減額(B-A)	△146	5	30	23	
増減率(%)	△16.0	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期連結実績 (2025年8月期第2四半期)	875	△15	△18	△23	△3.20

2. 業績予想と実績の差異の理由

当社グループは第2四半期連結累計期間において、日本国内市場では製造業界、食品業界、通信業界の一部の販売に遅れが生じました。また、米国市場では小売業界、製造業界、物流業界、サービス業界を中心に大型案件の商談を進めてまいりましたが、顧客の投資時期の遅れや交渉の長期化、関税政策等経済政策の変更といった外部環境の影響を受け、受注の進捗に遅れが生じました。これにより、2025年10月15日公表の業績予想と比較し、売上高が146百万円減少しました。

一方で、販売費及び一般管理費につきましては、売上高の減少に対応しコスト削減を実施した結果、計画比で119百万円の削減を達成、営業利益は改善する結果となりました。営業外収益においては、円安の影響により外貨建資産の換算差額が25百万円為替差益として発生し、経常利益ならびに親会社株主に帰属する中間純利益において業績予想と比較し改善する結果となりました。

3. 通期業績予想の修正について

2026年8月期通期の連結業績予想につきましては、現在の販売活動状況及び市場動向等を踏まえ、現時点では前回発表の業績予想(2025年10月15日公表)を据え置くことといたしました。

※本資料に記載されている業績予想及び配当予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後の業績動向等に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

以上